



Lead【ニュース】

◇ めいとく幼稚園の園庭で遊びました！ ◇ 5月31日(水)



千葉明德短期大学附属幼稚園の休園日に、風が気持ちよく吹き抜けて過ごしやすい広い園庭で遊びました。

16組42名の参加があり、子どもたちは大きな総合遊具、三輪車、水、泥あそびを楽しみました。特に年長児を中心に泥あそびが始まり、1・2歳の子どもたちも一緒になって思いきり遊んでいたのは印象的でした。また、ダンゴムシを見つけては嬉しそうにスタッフの元に持ってきていた1歳と4歳の兄弟、テーブルにタンポポの花を飾っておしゃれにしていた5歳の女の子たち。そして、総合遊具で遊ぶ子どもたちは、場所の

譲り合いであったり、新しい場所(遊具)に挑戦したり、どうすればいいのかと自分で考えている3歳もいました。

たいむが企画する園庭開放などは、室内の狭い空間だけではなく、外や広い場所で遊ぶことは、子どもの成長に欠かせない自然体験や心身の成長を培う機会であるとの思いで行っています。そして、子どもたちの楽しむ姿を見ていると、自然豊かな園庭だからこそ、たくさんの遊びがあり、そこに誰かが加わることで遊びが無限に広がっていくのだなと改めて感じました。



◇ 第2回 たいむを育てる会(運営委員会) 議事録 ◇ 5月23日(火)11:00~12:00

**出席者** 森竹さん、安藤さん、羽柴さん、風間さん、斎藤さん、小川さん、村上、本田

### 1. 6月行事予定

- ・水あそびの開始 ➡ ・すぐにお湯が使えるので、早い時期から水あそびが可能。
- ・フェルト制作 ➡ ・価格の設定、初心者や上級者向けで作る物を検討してはどうか。(練習キットを用意するのもよい)
  - ・入園前に園生活で使う物も制作をしてはどうか。(各自必要な物は持参+)
  - ・他にも、かぎ編みなどの企画もあがった。
- ・リズム室あそび ➡ ・たいむの狭い室内だけではなく、思いきり遊べる時間や場所が必要。
  - ・たくさんの人に、“たいむ”を知っていただけるきっかけづくりにもなる。

### 2. たいむ活動の見直し

- ・幼稚園児以上の子どもの玩具の見直し ➡ ・毛糸あそびや集中できるあそびが欲しい。小さな子は大きな子が遊んでいる物が気になるので、大きな子たちが遊びに集中できないことがある。
- ・家庭では経験できないことをやってほしい ➡ ・絵の具やダイナミックな遊び。リズム室あそびも含め、思いきり遊べる内容(たいむだからできること)もスタッフ間で検討中である。夏季は特に全身が汚れても気にならないような遊びをする。(畑仕事など午後にもできると、幼稚園児もできる)
  - ・音楽あそび・・・タンバリンや鈴などの楽器あそび  
(学生や教員と一緒に企画してはどうか?)

### 3. ジャパンミートのお金の使い方

- ・コート掛け ➡ 季節を問わず、一年中使える(冬は上着、雨の日にはレインコートもかけられる)
- ・水あそび用の玩具 ➡ 全身に水を浴びるのではなく、立ったままでも子どもの目線で遊べる玩具がある。(船などを浮かばせて遊べる) 水あそびの入口的に検討してみてはどうか。価格が高めなので要検討。

### 4. その他

- ・洋服交換コーナーについて ➡ ・衣替えの時期になり、前シーズンの衣類をどうするか。
  - (たいむにて保管、途上国への支援、国内施設への寄付など)
- ・洋服が寄付などに回ると決まった場合、洋服の持ち込みについても保護者の同意が必要になる

**次回は、6月23日(金) 11:00~12:00**

- ・衣類交換コーナーについて検討
- ・7、8月の行事予定の検討

### ■子どもの成長から思うこと■

たいむに遊びに来る子どもたちの成長を、身近な大人、スタッフとしてどのようににかかわり、見守ることが望ましいのかと考えています。

成長の一つとして、赤ちゃんの首が座ったこと、一人で歩けるようになったことなど、身体的な成長を感じる瞬間はたくさんあり、その度にみんなで喜びを共有しています。

最近では、身近な大人以外の他者(学生や教職員)とのかかわりを喜ぶようになった2歳前後の子を見かけます。

お母さんが見守るなか、1歳10ヶ月のMちゃんとKちゃんは、特定の学生とふれあうことを喜ぶようになりました。2人とも学生とかかわるまでに半年から1年の時間を要しましたが、今では自分から嬉しそうにタッチをしに行ったり、学生を探しに行こうとしたりするほどです。少し前までは、名前を呼ばれてもじっと相手の様子を見ているか、遠目から手を振り返すくらいでしたので、周りの大人たちはもちろん、学生自身も驚きと嬉しさがあつたようです。たいむの前を通る時には、お互いに微笑み

合い、話しかけ、ふれあう様子に、お母さんも微笑ましく見守っています。

上記のように、その子のペースでゆっくりと相手との関係を築いてきたのだと感じています。MちゃんとKちゃんは、自分の安心できる人を新たにみつけたことで、他者と一緒に過ごす(かかわる)ことも更に喜べるようになったのではと思います。また、学生側も子どもの目線に配慮しつつ、毎回笑顔で楽しそうに話しかけるとともに、子どもたちとの適度だと思われる距離間を保っていたのではと思います。学生自身もMちゃんとSちゃんとかかわりを通して、「時間はかかったけど、近くで一緒にふれあえるようになったことは本当に嬉しい。」と話しています。これが、もしどこかの場面で、スタッフや周りの大人が学生との橋渡しをしていたら、もしかすると良くも悪くも結果は違ったのかもしれません。

昨日まではできなかったことが、何気ないタイミングで子どもたち自らがこなしていることには驚くばかりです。そういったことも、何気なく過ごす日々の中で繰り返している経験の積み重ねだとも考えています。個々の年齢にもよりますが、目に見える成長の他にも、子ども同士のかかわりの変化や身近な人の真似をするようになったことなど、たくさんの成長を実感できる場です。以前からもそうですが、このように子どもと学生がかかわることで、自然に保護者との交流も生まれてきます。出会いの一つひとつを大切に繋ぎながら、みんなで子育てをし、みんなで成長を感じて認め、喜びを共有できる場もあります。子どもたちの成長を実感すること、誰かとかかわることで、知らず知らずのうちにみんなが学び、成長しているのだと感じました。一人の人間として、それぞれが違うからこそ、スタッフのかかわり方や大人としてのかかわり方など、対応がパターン化していないかスタッフ間で話し合っていく必要があると思います。

※右の写真は、1歳5ヶ月のYくんが周りにある物や人物に大分興味や関心を示すようになり、自分から歩み寄っている様子。

廊下を通りかかった職員が持っていたカメラに興味をもち、写真を撮って欲しいとポーズをとり、撮影した写真を確認している場面です。





## ◇ 学生による『うたとおはなしのひろば』 ◇ 5月11日・18日・25日(木)

池谷ゼミの学生による、『うたとおはなしのひろば』の様子です。  
緊張気味の学生の様子を温かく見守るお母さん方、可愛い発言や身振り手振りで学生の緊張を和らげる小さな子どもたち。手あそび、学生の手作りパネルシアター(動物クイズなど)など、およそ15分のちょっとした時間ですが、この時間はたいむの親子にとっても好評です。

お母さんが子どもと一緒に楽しむ、ゆったりできる時間にもなっているようです。4ヶ月の赤ちゃんYちゃんも抱っこされながら、じっと耳をすませて、おはなしの様子を見ていました。どんなに小さな子どもでも、たくさんの方が集まる楽しい空間が解るのでしょうか、とても良く笑っていたのが印象的でした。



右の写真は、1歳3ヶ月のMちゃんの様子です。学生が演じているパネルシアターが気に入り、パネルの所までやって来ました。目の前で動く動物(パネルシアター)に触りたいMちゃん、戸惑いながらも「座って観てね」ではなく、微笑みかけながら一緒に話を進める学生。Mちゃんのお母さんは迷惑をかけてしまうかもしれないという表情で、Mちゃんを何度か膝に戻しますが、やはり気になるパネルの元へとMちゃんは戻って行きました。しかし、学生がMちゃんの興味のある物、触りたいという気持ちを戸惑いながらも受け入れたことが良かったのか、Mちゃんも満足した様子で話が終わると静かにお母さんの元に帰って行きました。お母さんに対して「大丈夫です。一緒にできますから。」と笑顔で伝えたことで、お母さんも少し表情が柔らかくなり優しく見守っていました。

## ◇ 中庭あそび楽しいね！ ◇ 5月12日(金)



普段からいつでも中庭で遊べるようになっていますが、この日は中庭の畑も使って遊べるようにと思い企画してみました。また、たいむでは、なかなか畑で遊ぶ機会がないので、畑にいる虫探し(主にダンゴムシ)や草花で遊んでみようとの試みもありました。その他にも、4月の運営委員会で毎年植えているさつまいも苗植えをするにあたり、中庭あそびと並行しながら畑の草取りをしようとなりました。

当日はお母さん方が中心となり、畑の草取りを行いました。陽射しが強く汗を流しながらの作業でしたが、「畑の土を触ることもいいね」というように、会話を楽しみながら進めていました。子どもたちは、お母さんと畑の様子が気になるようで、畑に行ったり砂場で遊んだりと繰り返していました。

畑で虫探しをするということにはなかったものの、見つけたカタツムリに興味をもつ子や、天気も良かったので、水や泥あそびを喜んでいました。左上の写真は、ホースの水(湯)が出てくると、今遊んでいること(砂場)を中断して、水あそびの仲間に入ったKくんの様子です。仲間が増えたことで、更に遊びも盛り上がり、手だけではなく、全身を水(湯)



で濡らしながら気持ちよさそうに遊んでいました。そんな賑やかな様子をお母さん方は、畑作業をしながら優しく見守っていました。

◇ さつまいも・夏野菜の苗を植えました ◇ 5月19日(金)

今年は2年ぶりに、さつまいもの他に夏野菜を植えることになりました。夏野菜は、皆さんの投票により「きゅうり」「ミニトマト」の2種類に決まりました。

今回は、畑の土に肥料を混ぜ、うねを作るところから始めました。(本来なら、肥料と土を馴染ませるのに時間をかけた方が良かったのですが…) また、きゅうり用のプランターには水はけを良くするために砂利を敷きましたが、この作業は1歳のTくん、3歳のKくんが真剣な表情で行っていました。畑の方は、お母さん方とスタッフで土を耕し、うねを作っていました。

うねが完成すると、子どもたちにさつまいもの苗を渡しました。お母さんがうねの上に苗を並べ植えていく様子を、子どもたちは「何をするの?」というようにじっと見ていました。苗に土をかける子、水やりを喜んでいる子とそれぞれでしたが、どの子も小さな身体で何度もじょうろに水を汲みに行き、お母さんと一緒に畑に水をあげる姿に大人も微笑んでいました。

お母さん方は畑仕事の大変さを感じたことで、更に収穫までの過程が楽しみになったと話していました。また、こういった一から始める経験は大変なことではありますが、意外にも親子で楽しめるものだったようです。水やりや草取りなどの畑の管理をみんなで行えたらと思います。遊びに来た時には、ぜひ畑の様子も見てください。



◇ ママの誕生会 ◇ 5月24日(水) 10:30~12:00

今年度から、お母さん方の誕生日をお祝いしようということで、2ヶ月に一度たいむで誕生会をすることになりました。

対象の誕生月のお母さん方に、ささやかなお祝いとして、スタッフより“ママcafe”のプレゼントと廊下にフォトスポットも設けました。(4月のたいむを育てる会で誕生会の内容が決まりました。)

ママcafeは、cafeの時間内はスタッフがお子さんと過ごしていますので、室内にて、お母さんの好きな時間にあてられます。誕生会のママcafeでは、お母さん同士の交流の時間にもなればと考えています。今回の誕生者だったHさんは初めてのママcafe(物ではないプレゼント)に喜んでくださり、「ゆっくりとお茶を楽しむ自分の時間がもらえたのはとっても嬉しい」と話していました。



次の誕生会は7月の予定です。ぜひ、いらしてください!(対象者は6,7月生まれのお母さんです。)



## ◆水あそびが始まります！◆子育てひろばでは異例の早さ！

今年も水あそびの時期がやってきました。

水あそびが好きな子・初めての子もみんなと一緒に遊びましょう。

**【水あそび】といっても、お湯も出ます！！**

- \* 水温が心配な方はスタッフまでお声かけください。
- \* 気温が25℃以下の日は、水あそびを行わないことがあります。
- \* まいペーす・まいすぺえすの日は行いません。

【日 程】 6月5日(月)～天氣の良い開室日

【時 間】 10:00～15:00

【場 所】 短大 中庭

【持ち物】 タオル・水着(水あそびパンツ)・サンダル等



## ◆リズム室で遊ぼう！◆

巧技台やマット・トンネルなどを使って、室内でもたくさん身体を動かして遊びませんか？

たいむ会員以外のご参加もお待ちしています。なお、終了後は通常通りたいむを開室します。



【日 程】 6月22日(木)

【時 間】 10:00～12:00

【利用料】 一日会員：100円(保険料)

(初めての方・半年・年間会員は受付のみ)

【場 所】 短大2号館 1階リズム室(附属幼稚園の隣り)

【持ち物】 必要に応じて着替え・タオル・飲み物等

\* 大人も子どもも履物があると良いかと思います。

## ◆七夕制作について◆

年に一度の七夕に、親子で素敵な願い事をしませんか？

いつでも、誰でも飾り作りや短冊が書けるようにコーナーを設けます。

飾りと短冊が仕上がったら、笹竹に飾りつけましょう

